

奥野ひでなり

政治にたずさわる者の心得について (倫理観・歴史観)

市長・全議員が襟をただし
権力に抗った民衆の歴史に学ぶ市政を！

私は、政治にたずさわる者には2つのことが重要と
考えます。1つは倫理観。市民から疑われるような行
為は、厳に慎まねばなりません。本市は、ことのほ
かモラルが問われており、市長はもちろん、全議員
が姿勢を正さねばなりません。2つ目は、偏りのない
歴史観を持つこと。市長は、歴史・伝統・文化・学
術が金沢の個性であり、魅力・強みだと述べられま
すが、一般的に金沢の歴史は、前田家加賀百万石
以降ばかりが目立って、北陸新幹線を前に百万石
の武家文化のみに力点が置かれていませんか。歴史
をひも解けば、チカモリ遺跡など古代の遺物があり
、忘れてならないのは、富樫氏の過酷な年貢取り
立てに立ち上がった民衆が、これを打ち破り、「百
姓の持ちたる国」として自治を行った、加賀藩誕生
前の100年間の歴史です。さらに言えば、加賀百万
石の武家文化は、厳しい年貢取り立ての上に成り立
っていました。こうした歴史も踏まえなければ、武
家文化や為政者の政治に偏った歴史観のもとで、
街づくりが進められていくのではないのでしょうか。

市長



高い道德規範を持ち、市民の幸せを願い、常に責任
を感じながら、街に誇りを持ち、公平公正に職務を遂
行することが、市長の持つべき倫理観。藩政期以降
だけでなく、チカモリ遺跡の縄文文化の保存、一向一
揆遺跡の調査などに努めてきた。町家など、くらしの
中で培われてきた文化継承にも取り組みたい。



傍聴に来ていただいた
支持者の方たちはもちろん
他会派の議員さんからも
「いい質問でしたよ」と
言っていました！

はじめての質問を行いました！



平和に対する認識について 「平和宣言都市・金沢」として 集团的自衛権撤回の意見書を！

今年7月1日、安倍政権は集团的自衛権行使容認の
閣議決定を強行しました。市長は、この決定で本
市にどんな影響が及ぶと思われますか？ また、こ
れにより戦争への道のりになるとして撤回を求め
る意見書が多くの自治体から出されており、本市も
出すべきと考えます。本市には日清戦争後、陸軍第
9師団が置かれ、人口の1割が軍にたずさわり終戦
まで軍都と呼ばれました。その歴史を踏まえ、昭和
60年に議決された平和都市宣言は、平和の実現に
向け、不断の努力を誓い、永遠の平和都市となるこ
とを宣言したのですが、非戦災都市として平和を
築き上げてきた本市から、平和を守る施策を推進
するべきと考えます。

市長



集团的自衛権は、わが国の安全保障に関わる重要な
課題であり、今後の議論を注視したい。平和への思
いは、奥野議員と同じ。世界各都市との交流や外国
人へのおもてなしの実践など、世界の恒久平和に努め
たい。意見書については、議会で議論いただき、問題
提起はしっかりと持っていきたい。



奨学金制度について 学都・金沢にふさわしい 給付型・無利子の奨学金を！

長引く不況で経済的格差が広がり、高校生への県
育英資金の返済滞納額が7年ぶりに前年比を上回
るとの報道がありました。高卒学生の多くは、派遣
やアルバイトなどの非正規雇用となり、返済に困る
のも当然。本市にある月額1万円の給付型奨学金
を広く知らせ、額や定員を増やすべきです。
大学生も、親からの仕送りが減り、ひとり親家庭で
は授業料が払えず、学業を断念せざるを得ないケ
ースも増えています。アルバイト先が過酷・長時間
勤務を強いるブラック企業であれば、学業どころか
身体や心を壊しかねません。現行の奨学金は貸付
型が大半で、利子付の返済を求められ、一人あたり
平均300万円という大きな負担となります。卒業し
ても正社員として就職できるかわからないという現
状のもと、本市独自の給付型・無利子の奨学金制
度を創設すべきです。

市長



高校生対象の本市の育英会奨学金を、市広報も活
用し、周知を図りたい。拡充については、平成23年
度に、80人から100人に増員した。経済的理由で学
業を断念という現状は、大きな問題である。大学生
の本市独自の奨学金は、日本学生支援機構の奨学
金の充実を検討中とのことで、注視していく。



写真提供：金沢市



高齢化社会への対応について ふらっとバスの郊外への拡充で 高齢者にやさしい街づくりを！

今回の選挙戦では多くのご高齢の方から、生活へ
の不安の声が聞かれました。消費税が上がったの
に、年金は下がる。70歳からの窓口負担増に、要
支援1・2の介護外し。特養ホームに入りたくても
入れないまま亡くなるケースも。また町会の高齢化
で、このまま行けば担い手がいなくなり、町会の維
持ができなくなるとの声も。若い方たちや、県外・
市外から映ってこられた方たちに入会を促す取り
組みが必要です。さらに最も多かったご要望が、買
い物や銭湯、役所・病院等に気軽に行ける環境を
整えて、というものです。城下町の形態を残した本
市は、坂道や小路が多く、高齢の方の移動は困難
と危険を伴います。そこで「ふらっとバス」を郊外
にも拡充する必要があると考えます。2025年には
団塊の世代が75歳となりますが、国の施策を見る
かぎり不安は増すばかり。長寿安心プラン作成に
際し、市長のご決意を伺います。

市長



特養増設は、昨年度末、地域包括ケアシステム推進
基本構想を策定した。町会への若い方の加入につ
いては、今年度町会等のウェブサイトを開設。ふら
っとバスは、中心市街地の活性化や歩行者と公共交
通優先の歩ける街づくりのため導入したもので、郊
外での導入は考えていないが、4月から住民主体の
マイクロバス運行支援制度を創設した。

金沢の歴史 ご存知ですか？

◆チカモリ遺跡 (新保本5丁目)

縄文時代後期から晩期(約4000～2500年前)の遺跡。集落
跡からは、栗の木からつくられた半円形の柱が発見された。

◆平岡野神社 (広岡1丁目)

1183年の倶利伽羅峠の戦いで勝利した木曾義仲が、逃げる
平氏軍を追って陣をしいた地。

◆高尾城址 (高尾町)

15世紀に富樫氏が拠点とした城。1488年、一向一揆がこの
城に押し寄せ、富樫氏を滅亡させた。

◆金沢城 (丸の内)

前田家が拠点とした城。1592年から大改修された。兼六園は
5代藩主・前田綱紀が整備した庭園。



写真提供：金沢市



写真提供：金沢市

江戸時代の加賀・金沢は、「天下一の書府」といわれるほど
書籍を集めて藩士たちに勉学に励ませ、寺子屋も数多くあ
ったといわれる。また明治時代以降は、金沢医学館や旧制第
四高等学校が置かれたことから「学問の都、学都・金沢」と
呼ばれた。現在、本市とその近郊には、18の高等教育機関が
あり、「学都・金沢」「学園都市・金沢」は健在。

◆旧制第四高等学校 (広坂2丁目)

1887年に設立。井上靖・徳田秋声などの文学者や、鈴木大拙
(仏教学者)、西田幾多郎(哲学者)などを輩出した。